

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2023年3月1日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内) 担当 三沢満里子
TEL 052-901-0338

Vol. 35 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校並びに卒業生のご協力を得て編集発行しています。

羽ばたけ、北高卒業生！

同窓会会長 山本裕康(4回生)

北高校同窓会々員の皆様には、日々お元氣でご活躍のことと思います。新型コロナウイルス感染症との戦いも4年目に入り、感染も第8波を数えるまでになりました。ワクチン接種も5回目を実施され、ようやく春先には5類の扱いになり、少し先が見えてきたようです。

このような中で、この度卒業された58回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、高校への入学から卒業までの3年間の貴重な時間をコロナ対応の中で送られて来ました。高校生活で皆さんの夢と希望がどの程度叶えられたのか計り知れませんが、貴重な経験をされたことと思います。

昨年の12月に三年ぶりに「若者のつどい」を開催しました。55・56・57回生の3学年がアイデアを出して実行してくれました。コロナ禍ですので飲食はなく、ペットボトルしか出せませんでした。久しぶりにしっかりとした元気な姿を見ることが出来、安心するとともに勇気づけられました。皆さんとは出来れば8月に「若者のつどい」を行いたいと思います。詳細は別途連絡いたします。

さて、皆さんは卒業と同時に同窓会に入会となります。皆さんの入会を心から歓迎いたします。保護者様をはじめご家族、恩師、先輩や同僚、後輩など、あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにして下さい。

北高も創立60周年を迎えられました。コロナ禍ですので特にお祝いの行事はありませんでしたが、学校と相談の上、同窓会

として製氷機を寄贈させていただくことと致しました。気候変動が年々厳しくなってきました。夏の猛暑での体育の授業や部活時に熱中症予防に役立てていただきたいと思います。

ロシアがウクライナへの常軌を逸した戦争を開始してから一年が経過しました。このことによって世界情勢が一変し、インフレを加速させエネルギー価格や食糧価格の高騰を招いています。日米金利差により円安が進行し日本経済に甚大な影響を及ぼしています。国内でも安倍元首相が選挙遊説中に凶弾に倒れるという悲惨な事件がありました。きな臭い出来事が多く心を痛めました。旧統一教会問題がクローズアップされ、閣僚の不祥事と合わせ岸田政権を揺さぶっています。しかしながら、ウイズコロナが浸透し、DX化が進み、生活や仕事に大きな変化がもたらされました。なかなか大変ですがこれをChanceと捉えChangeをして行くことが大事だと思います。

最後に、同窓会活動の継続には皆様方からのアイデアの提供やご協力無くしては出来ません。個人情報保護の兼ね合いで情報発信が難しい状況になっていますが、今後とも、ご理解・ご協力・積極的なご参加をお願いするとともに、同窓会会員の皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念してご挨拶と致します。

令和4年度 卒業生対象の行事 (令和5年同窓会若者のつどい)

- ・令和5年8月に開催予定です。
- ・5 or 6月にクラス同窓会委員会を招集します。卒業生には往復ハガキで連絡します。

祝 創立60周年

校長 佐々木 裕 隆

同窓会会員の皆様こんにちは。本年度、北高校は創立60周年を迎えております。まずはお礼を申し上げます。そのアニバーサリーを記念して、同窓会とPTAより、記念品と記念企画のお力添えをいただきました。同窓会会員の皆様方からは、体育館近くに新たに製氷機を購入していただくと共に、業者による本校のPR動画の作成にご援助をいただきました。PTAからは、北高オリジナルロゴ入りマスクの全校生徒への配付と、同じく業者による本校PR動画の作成への援助をいただきました。本校PR動画は、中学生やその保護者に公開して本校への関心を深めてもらうことを目的とし、来年度前半に作成する予定で進めております。皆様方の心温まるご支援に対し、職員を代表して厚く感謝申し上げます。

さて、コロナウイルス感染症の影響で、海外の生徒や学校との交流が激減してしまいましたが、徐々に留学生を招き入れることができるようになってきています。本年度は、フィンランド、ドイツ、マレーシア、イタリア、韓国、アメリカからの留学生が本校で学びました。様々な国の留学生と共に学び合うことで、生徒達は、今後の人生に厚みを持たせる貴重な経験を行うことができます。来年度には、国際理解コースの海外研修も復活させる予定で計画を進めています。

60周年の節目は人間で言えば還暦です。ご承知の通り還暦とは、生まれた年の干支に一巡して戻り、生まれ変わって第2の人生のスタートを切る年です。今年度還暦を迎えた北高も、さらに素晴らしい学校に成長していくはじめての一步を踏み出すべく、現在全職員で奮闘している最中です。新たな学びの姿である「協働的な学びと個別最適な学び」の実現、生徒一人に1台ずつ配付されたタブレットの活用、定期考査に偏りすぎない新たな学習評価の実施、そして、令和6年度からの制服リニューアルと始業時間の繰り下げ変更等々。校舎は古いままですが、これからも生徒達と新たな歴史を作っていくと考えています。

本年度も新たに268名の卒業生が巣立っていきます。同窓の後輩達の今後の活躍にご期待いただき、どこかで出会った際は、ご指導並びにごひいきをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

特色と魅力ある北高校

教頭 伊藤 幸彦

本校に赴任して3年目を迎えました。過去2回、本誌において、私が平成6年度から4年間、本校で教諭として働いていたことを紹介しました。その時代からほとんど変わらない学校風景ですが、本年度、大きな工事が入りました。それは、B棟保全改修工事です。B棟は1階に調理室や被服室、2・3階に理科や社会科の講義室や実験室、4階に図書室が入っている校舎です。外壁が塗り直され、B棟のトイレが全ての階で新しくなりました。私の担当教科は社会なので、教諭の時代は社会科準備室を拠点としていました。担任をしているとき、遅刻の多い生徒には早朝トイレ掃除を課し、B棟3階のトイレで朝8時前から生徒と掃除をしていたことを懐かしく思い出します。

また、本年度途中から生徒一人に1台ずつタブレットが貸与され、学びの在り方が大きく変わりました。令和2年度からマッチングプロジェクト実践校として名古屋市から指定を受けた本校は、ICTを活用した授業の在り方について研究してきましたが、生徒のタブレット活用も併せて先進的な授業が繰り広げられています。授業に限らず課題の配付・提出や日常の連絡にも活用され、かつて黒板を利用していたいわゆる「チョーク&トーク」と呼ばれるスタイルや、ノートやプリント等紙媒体を中心とした学び方は大きく様変わりしました。生徒は学びに集中し、理解が深まっていることが想像できます。時代は変わったなと痛感するこの頃です。

先輩方もお暇なときにこの新しく変わった北高校を一度見に来てください。新しいトイレは気持ちいいです。まだまだ古い施設もたくさん残っていますが、そこも懐かしさを味わえると思います。そうした環境の中、北高生は頑張っていくものと期待します。先輩方も後輩の頑張りに応援をしていただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

北高での3年間を通して

第58回卒業生 木村 薫 美

3年間あっという間だったと感じる人も多いのではないのでしょうか。入学して早く新しい環境に慣れたいな、と思っていたらいつの間にか2年生に、そして楽しくなってきた頃には3年生になっていて、受験勉強に明け暮れていたらもう卒業…。そう感じているのは私だけではないはずです。

中学3年生の頃、高校合格のため必死に勉強し北高に入学しました。入学式を終えてすぐに新型コロナウイルスの感染拡大によって生徒全員が自宅待機になったため、クラスの誰にも会えないままだと与えられた課題に取り組むだけという日々は少々退屈でした。学校に通えるようになってからは新しい生徒とコミュニケーションをとることに緊張しながらも少しずつ慣れていきました。稲武で行われたイングリッシュ

キャンプも、英語だけで3日間過ごすというなかなか刺激的なものでした。スポーツデーや体育祭はみんながスポーツをするというだけであって、かなり盛り上がりました。そして誰もが強く印象に残っているはずの文化祭も、クラスで一致団結して一生懸命作品を作り上げたため、とてもクオリティーが高く、友達みんなで教室を回るのはとても楽しかったです。私が3年生の頃は今まで行われなかった一般公開もされ、より盛り上がりました。3年生ではそれぞれが違った受験方法で受験をしていたため、何がなんだか分からずあせることも多かったけど、自分もみんなも一生懸命調べて対策を練り、勉強をしていました。

北高での思い出はたくさんあり、卒業するのは少しさみしいですが、この思い出を胸に新しい環境でも頑張っていきたいです。



大人になる勇氣

第21回生・地方自治体職員 飯田 浩 史

北高卒業おめでとうございます。

コロナ禍になり友達の顔もマスク越しにしか見られない3年間で在学中は不完全燃焼だったかもしれません。それでも高校を卒業して、進学や就職するなど新しい道を進むことに心躍らせていることでしょう。同時に、自己の裁量がますます広まり、自由とともに責任がグッと広がります。卒業が40年近い昔の私の卒業後の経験を書かせていただきます。

私は大学で工学の応用化学を学びましたが、当然のようにアルバイトも毎日していました。当時は海外旅行が流行っていたのでヨーロッパに行く費用を捻出するためです。同行した北高出身の友人が芸術大学で美術を専攻していたので、高校の歴史や美術の教科書に載っている美術品をフランスやイタリアで見て回りました。バブルの環境下でしたが、学業に励んだりお金を貯めたりすることで節制を身につけることができました。残念なことにその友人は大学院時代に若くして病気で亡くなってしまいました。

その後大学院で材料科学の研究と出会い、研究職につくことができ、就職先では研究を自由にできることを楽しんでいました。ところが中年になるとチームで仕事することが増え、自由に一人で研究することから離れることになり、少しばかり社会の網の目の中で働いていることを実感しました。その時は自分は何であるか、何をおこなった方がいいのか、その能力はあるのか、など結構悩んでしまいました。メンバーと成果を共有するにはストーリーが真理や正義に基づいていなくてはいけなかったり、自己が統御されてなければ皆をリードしていけなかったりすることにその時気付くことができました。

こういった経験から、自分とパートナー、友人、同僚など仲間への配慮が大事であり、常に自己に専念していかなければならない、と中高年になって気がついたのは遅かったかもしれません。皆さんが日々学んでいるように、現在は100年に一度の大変革期、大人の世界でも常にリカレント、学び直しにせまられています。それはつまり社会に出たら、皆さんとライバルということです。共に北高生として勇氣を持って活躍していきましょう。

ぜひとも同窓会活動にご参加ください

一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してきましたが、約10年毎に変更します。
50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。

二 毎年夏に「若者の集い」の開催

新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。

三 同窓会名簿の作成と住所管理

全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(株サルト)に依頼しています。

四 「北高同窓会だより」の発行

年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。

〈3年分の若者のつどいを開催〉

令和4年12月17日



令和元年から3年の実行委員が精力的に企画し、楽しい集いでした。クイズとビンゴでは豪華な景品もあり、大盛り上がり。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が参加されることを期待します。

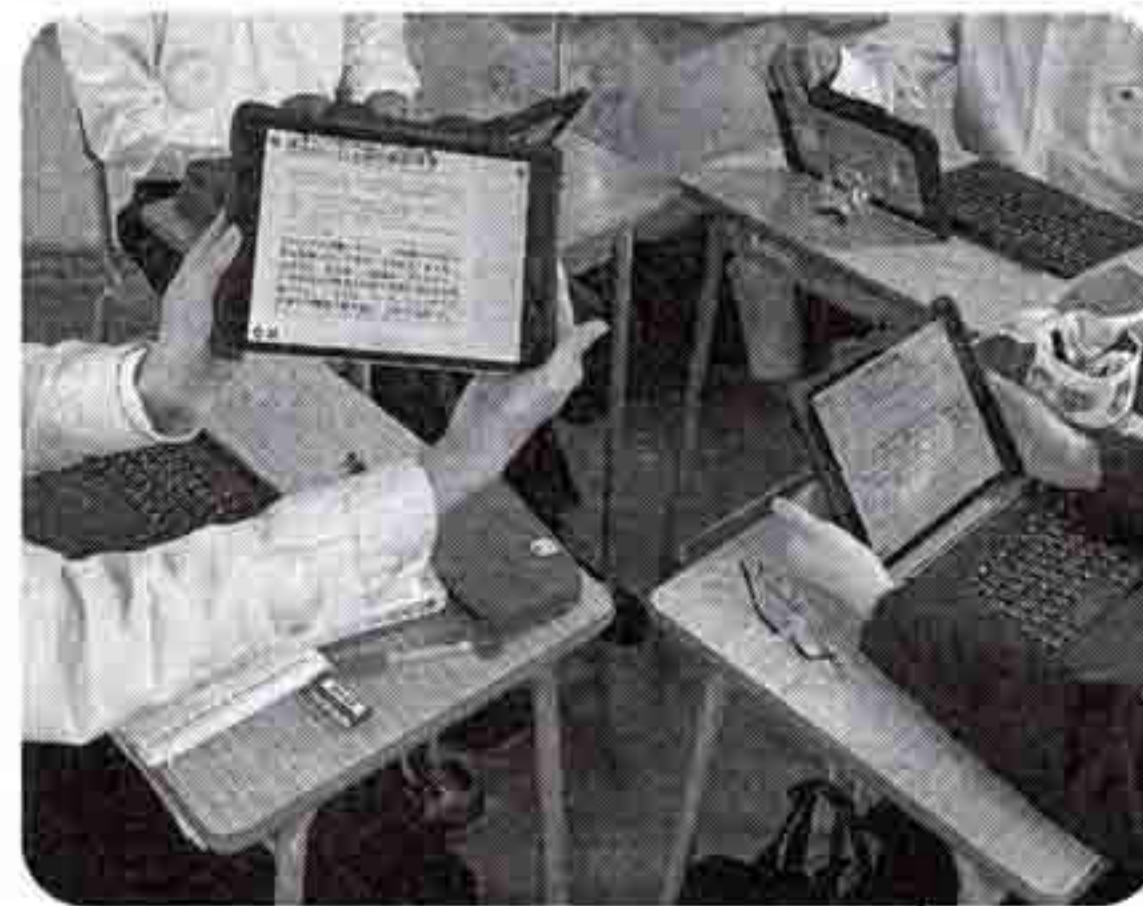


修学旅行

昨年はいろいろな学校生活が中止や縮小となる中で、なんとか修学旅行を行うことができました。写真は、普通コースの広島、平和公園です。国際理解コースは北海道に行きました。

文化祭

夏休みにクラスで準備した文化祭。今年度は3年ぶりに保護者来校ありの文化祭でした。3年生の保護者からは「最後の年になってしまったけれども活気のある文化祭を見ることができてよかった」との声が寄せられました。



授業用タブレット

R4.10に生徒全員に授業用タブレットが配付貸与されました。調べ物やグループ学習などのほか、場合によっては家庭へのリモート配信も行われました。提出物は「写真に撮ってデータで送る」ことも行われています。